

# 産業の構造変化分析

- 中古車買収・販売産業の3つの産業レイヤーによる考察 -

呉健柏

[論文概要]

本研究では、時系列の観点から、個別企業、業態グループ、産業という3つのレイヤー間の関連性を考察することを研究の目的に置いた。また、この目的を通じ、産業進化理論、ビジネスモデルと産業モデルの関係理論の発展を図るものとして、産業構造変化の誘引が、個別企業による影響だけでなく、業態グループとも深く関連していることの示唆を得ようとするものでもあった。

これらの研究命題にアプローチするため、方法論として採用したのが事例研究である。日本の中古車買収・販売産業を取り上げ、60年代から今日に至るまで、産業内における個別企業による革新的ビジネスモデルを検証し、またプレイヤー間の関係変化及び産業全体の構造変化を先行研究のツールを用いながら考察を行った。

一方、本研究では、根来の付加価値モデル理論(2001)、Porterの戦略グループ理論(1982)に基づき、「業態グループ」という概念を導入した。また、McGahan(2005)が産業進化理論で述べた「コア資産・コア活動」概念を発展し、「業態グループ」という概念に新たに適用させた。業態グループとは、ある産業内の同じ付加価値を担い、同じコア資産・コア活動をもつ個別企業の集合である。かつ業態グループは、戦略グループ概念を部分概念として含むものである。と本研究は定義する。また、コア資産とは、ある業態グループのプレイヤーが、ある付加価値を担うために、必要とする資源でグループ内のプレイヤーが共通して持つものであり、コア活動とは、ある業態グループのプレイヤーが前後のプレイヤーとサプライチェーンを連結するために行う不可欠な活動で、業態グループ内のプレイヤーが共通して行う活動である。新しい概念を導入することによって、産業3つのレイヤーをより明確となり、産業構造の変化を分析するのに不可欠であると本研究は考えている。

事例分析の手順として、まず、個別企業のビジネスモデル革新について、Linder(2000)のコアロジック理論を用いて分析を試みた。中古車買収・販売産業が成立された60年代から、2000年以後まで、産業に革新をもたらした個別企業のビジネスモデルのコアロジックを考察し、それが業態グループにどのように影響するのかを分析した。その結果、個別企業のビジネスモデルの革新は、新たな業態グループを作り上げることが明らかになった。すなわち、個別企業による革新は業態グループの創出と深く関わっていることが分かった。

次に、時系列における中古車買収・販売産業の業態グループをすべて分類し、それぞれの「コア資産・コア活動」の抽出作業を試みた。抽出方法として、根来（2005）の差別化システム論を業態グループに応用したものをを用いた。その結果、それぞれの業態グループは必ずコア資産・コア活動を保有し、かつ産業内で誕生した新しい業態グループが持つコア資産・コア活動は、産業既存の業態グループが持つコア資産・コア活動に何らかの影響を与えることが明らかになった。また、業態グループの移動障壁は、その業態グループが持つコア資産・コア活動と深く関連していることも明らかになった。

最後に、中古車買収・販売産業の構造変化及び業態グループ間の相互作用関係について、根来（2001）の付加価値モデル理論を用いて、「コア資産・コア活動」の変化と関連付けながら考察した。その結果、同じ産業に属する業態グループ同士では、主に2つの関係を成していることが明らかになった。産業の付加価値連鎖の異なる部分を担当する業態グループ同士は補完関係である。一方、産業の付加価値連鎖の同じ部分を担当する業態グループ同士は競争関係である。例えば、中古車の買収を担当する買い取り専門業態グループとメーカー系買い取り専門業態グループは、競争関係となっている。また、中古車を仲介転売する企業系オークション業態グループと中古車を販売する個人経営ディーラー業態グループは補完関係となっている。仮に、競争関係の業態グループが増えれば、産業全体は不安定に陥る。また、補完関係の業態グループが増えれば、産業は安定し、全体として拡大する。

上述の事例分析を踏まえ、中古車買収・販売産業における個別企業の革新と業態グループの関係、業態グループ間の関係及び業態グループと産業構造変化の関係を明らかにし、さらに、事例の分析結果をさらに抽象化し、3つのレイヤーにおける関係仮説モデルを構築した。

根来（2001）のビジネスモデルと産業モデル理論では、個別企業のビジネスモデル革新と産業構造の関係性を論じてきたが、本研究では、個別企業と産業の中間に位置する業態グループの概念を取り入れることや、時系列における産業構造変化の分析などを通じて、より包括的な産業内部の構造変化及びプレイヤー間の関係に示唆を与えることができる。